



YAMATO-NAKA ROTARY CLUB

2018号

会 長	北砂明彦	会長エレクト	阿萬正巳	事 務 所	大和市大和南2丁目1番1号
副 会 長	石川健次	幹 事	野口 宏		大和中央ビル 301
プログラム・	橋本日吉	鈴木洋子	肥田 昭		TEL 046-262-1717 FAX 046-262-1818
クラブ会報担当	辻 彰彦	板垣克浩			E-mail : naka-office@ynrc.jp
例 会 場	きらぼし銀行	大和支店 4F (毎週木曜日)			URL : http://www.ynrc.jp

国際ロータリーテーマ

ROTARY OPENS OPPORTUNITIES

「ロータリーは機会の扉を開く」

RI会長 ホルガー・クナーク

大和中ロータリークラブ会長ターゲット

「会える喜び、楽しみ、笑顔を広げよう」

【本日のプログラム】 5月13日 卓話「地区研修協議会を終えてパート2」「創業記念日にあたり」

【次回予告】 5月20日 卓話「青少年育成基金の生い立ち」高橋 政勝 様

【第2011回例会】 令和3年4月22日(木) 【司会SAA】 鈴木 洋子 君

【斉唱】「奉仕の理想」 【ソングリーダー】 向井 嘉男 君

会長の時間 北砂 明彦 会長

本年度のクラブ協議会は7回の開催予定をしており、本日は第6回目のクラブ協議会となります。

クラブ協議会は、クラブのプログラムと活動もしくは会



員教育について協議するために開かれる、クラブ役員、理事、委員会委員長を含むクラブ会員全員の会合である。全ての会員は協議会に出席することが強く奨励されている。クラブ会長もしくは指定されたほかの役員が、クラブ協議会の議長を務める。会長が招集する理事、役員、委員長の会合であり、クラブ運営方針、委員会活動の決定及び報告、RI及び地区の方針の報告、地区大会や地区協議会、IMの報告、クラブ・アッセンブリーは例会とは切り離して実施することが原則であり、十分に時間をかけて行われるべきである。出席義務者以外の会員の参加、特に新入会員の参加が望まれる。

1. 新年度の7月9日木曜日「年度始めにあたり」として

2. ガバナー公式訪問に備えて1週間前の9月17日木曜日辻彰彦ガバナー補佐として社会員より説明を頂きました。
3. 10月1日木曜日ガバナー公式訪問
4. 「地区大会を終えて」として、10月29日木曜日に開催。地区大会自体は10月18日鎌倉芸術館での開催予定でしたが、コロナの影響で会長・幹事・会長エレクトの出席者限定としての開催となりました。
5. 1月7日木曜日「年頭にあたり・半期を終えて」を開催したその日に第2回目の緊急事態宣言発令。1月7日から2月7日。その後1か月延長され、3月7日までとなりましたがさらに延長が決定され3月21日まで緊急事態宣言が続きました。その間の例会は取止めとなりました。
6. そして本日4月22日木曜日「地区研修協議会を終えて」として開催いたします。地区研修協議会は今年もオンラインでの開催となり、4月18日日曜日に全体会議。その後4月24日土曜日に部門ごとのオンラインでの開催予定となっております。本日は会長エレクト・幹事エレクトより「地区研修協議会全体会議を終えて」として開催頂き、部門ごとにつき

会員数	出席者	出席率	前々回修正	出席免除	欠席者 8名(敬称略)
27名	18名	69.23%	80.77%	1名	原嶋、池澤、板垣、岸、新村、苗加、竹野、富澤

ましては、5月13日木曜日クラブ協議会パートⅡを
実施する予定です。

クラブ討論会(クラブ・フォーラム)

奉仕理念、クラブ管理運営、委員会活動などの問
題点について自由に意見を述べ合う討論会である。
事の白黒をつけたり、あえて結論を導きだす必要は
ないとされている。

炉辺会合・家庭集会

会員宅を持ち回りして、少人数で開く非公式な懇
話会であり、話題は特にロータリーに限定されない。
アットホームな雰囲気から、公式な会合ではなかなか
言い出せないロータリーの初歩的な質問などもきや
すく切り出せる。

委員会報告

【お祝いの方々】

親睦活動委員会 阿萬 正巳 副委員長

創業記念日	板垣 克浩 君	5月1日
	竹野 国敏 君	5月7日
入会記念日	池澤 利男 君	5月1日
	肥田 昭 君	5月9日



皆出席のお祝い 向井 嘉男 委員

皆出席40年	高橋 政勝 君
皆出席3年	富澤 克司 君
皆出席3年	野口 宏 君



第6回クラブ協議会

「地区研修協議会を終えてパート1」

会長エレクト 阿萬 正巳 様

地区研修・協議会全体会議

- ・4/18(日)ユーチューブ 13時から14時15分(1時間15分)
- ・久保田ガバナーの挨拶
- ・田島透ガバナーエレクトから、シェカール・メータRI会長のテーマと地区活動方針の発表
- ・相澤バスターガバナーによる基調講演「地区の戦力計画について」
- ・ロータリー財団の表彰
- ・分科会のお知らせ 4/24専用サイトがオープン、5/8までにレポートの提出



田島ガバナーエレクト

I 2021-2022年度 シェカール・メータRI会長の
テーマ

「SERVE TO CHANGE LIVES」 奉仕しようみんな
の人生を豊かにするために

ほかの人のために生き、世話をし、奉仕することで
誰かの人生を豊かにすることは、自分の最高の生き
方である

優先活動項目

1. 会員の増強 each one bring one
2. 女子のエンパワメントに焦点を当てる
3. ロータリー奉仕デーの実施 do more grow more
4. ポリオの完全根絶
5. ロータリーの7番目の重点分野として新たに「環境
保全」を追加

II 2021-2022年度 地区活動方針

「地区ビジョンの実現」を目指します

ポリオ根絶と会員増強

DO MORE「ENDPOLIO」GROW MORE「MEMBERSHIP」

奉仕を通じ会員基盤を強固なものにしましょう

1.RI会長シェカール・メータ氏のテーマの理解と促進
のサポート

SERVE TO CHANGE LIVES 奉仕しようみんな
の人生を豊かにするためにの理解と促進

2.「地区ビジョンの実現」を目指します

①地域社会の変化とニーズをとらえる(時代の変化
に対応する組織の醸成)

・地区のビジョンと行動計画の理解と推進

・「クラブ・フューチャービジョン会議」の開催

・変化に適応できる組織への対応・柔軟性のあるクラブ運営、**全員がマイロータリー登録**

②地域社会にインパクトをもたらす(地域社会に開放的な活動を推進し、基盤を広げる)

・ポリオ根絶に向けた横断的な活動の推進・10/24「世界ポリオデー」開催

仮ポリオ根絶サミット2780、仮ポリオ根絶、新型コロナウイルス鎮静祈願祭

・会員増強維持拡大・9/25～10/24イメージ向上・会員増強月間

地区会員数:2396名以上・女性会員比率15%

③多様な人々との出会いとつながり(地域で活動するより多くの人達とのネットワークを築く)

・若い人達への積極的支援・ローターアクト、インターアクトの拡大、米山奨学生など支援

・将来のリーダーの発掘、育成・若手メンバーの地区への参加、奉仕活動を通じて地域社会とのネットワーク・地域リーダーとの絆の強化

④積極的に行動します(クラブの積極的行動への促進と支援)

・IMにかえて「ロータリー奉仕デー」の開催2/20

・1クラブ1奉仕事業

・ロータリー会長賞への挑戦

・ヒューストン国際大会への参加

3.数値目標

①会員数 2396名以上「EACH ONE BRING ONE」の推進

②女性比率 地区15%以上

③ロータリー財団寄付:年次基金200ドル/1人

④ロータリー財団寄付:各クラブベネファクター:1名以上(恒久基金への寄付1000ドル)

⑤ロータリー財団寄付ゼロクラブ:ゼロとする

⑥ポリオプラス寄付:40ドル/1人

⑦米山記念奨学金寄付:20,000円/1人(普通、特別寄付合計)

⑧米山記念奨学金寄付ゼロクラブ:ゼロとする

今回の感想として、オンラインで会場の制約が無くなったので、全ての地区会員が視聴出来るようになったら、より良く地区の考えが伝わって行く可能性があると思います。また、全体会議はオンライン、分科会はリアル会議で分けて開催する等ハイブリット会議

の開催であるとか地区研修・協議会の可能性が広がった、素晴らしい試みになったと思います。そして、出来れば後日でも、録画の視聴が出来るようにして頂きたいと思いました。

卓 話

『ロータリーのリーダーシップ』

クラブ研修担当 後藤 定毅 様

先ほど阿萬次期会長が、地区研修・協議会について触れましたが、クラブ会長になる人だけは、クラブ定款で、会長研修セミナー(PETS)、地区研修協議会のこの二つに出席しないと会長に就任できないという決まりになっています。



そもそも「地区研修協議会」は、次年度ロータリークラブの運営を担当する会長を中心としたクラブ指導者、すなわち国際ロータリー(RI)の会員である、それぞれのロータリークラブのチームが、任務に備えるために行われる研修会です。国際ロータリー(RI)のトップの会長がどのような考えを持って一年間運営するのか、またそれを受けてRIの支店長の立場である、地区のリーダーのガバナーが、その方針を推進実践しようとしているのかを、勉強する場であります。したがって内容は、①RIテーマ、②役割と責務、③方針と手続き、④各委員会の研修と計画の策定、⑤支援資料、⑥事例研究と問題解決、等々が予定されています。そのため会長エレクトから任命されたクラブの次期委員長の方々にも出席が要請されます。今年もコロナ禍のためにZoom会議のようですし、先ほど説明のように18日に行なわれた本会議と、これから行われる分科会と、別々に実施されると聞いています。二日間もロータリーに時間を取られ、次年度の阿萬次期会長チームの大変さに、同情するところです。

さて次年度クラブ指導者を務める方々のためになるかわかりませんが、以前私が感銘を受けた講演の「ロータリーにおけるリーダーシップ」について、披露したいと思います。

RI元会長 クリフォード・ダクターマンという人が言っ

ていたことですが、善意の集団である上下のないボランティアのロータリアンの集まりを指導するリーダーが担う仕事は、一般的なリーダー職とは完全に異なるものだと言っています。

ボランティアであるロータリアンのリーダーとして成功するために必要な能力は、特別なものであり、個人的なものではないかということです。自分の思うようにならないからと言って、会員を解雇することも出来なければ、新しい会員をすぐに雇うことも出来ません。

補足しますが、ご承知のようにクラブを運営する上での最終決定権限は、ロータリーでは「会長」や「委員長」という指導者個人にあるのではなく、「理事会」にあり、そこで話し合っただけで結論を出して行かなければならない組織であるということです。「会長」といっても理事会の構成員の一人であり、その理事会の「議長」を務めることが主な仕事です。一般的な会社や団体の組織のように、会長や指導者が自分だけの一存で、「トップ・ダウン」で一方向的に命令することが許されないところが、ロータリーの特徴かも知れません。

ここでダクターマン元会長は、永年、ロータリーの優れたリーダーたちを見てわかったことは、彼らはオーケストラの指揮者のようなリーダーシップ、能力(スキル)と気質を、備えているということを言っています。

オーケストラにはさまざまな楽器、スキル、才能を持つ演奏者が集まっているように、ロータリーでもクラ

ブの会員は、さまざまな能力、関心、体験を備えた人々によって構成されています。オーケストラにはさまざまな楽器や演奏家が参加するように、クラブでも多種多様な会員が存在しています。したがってロータリークラブの指導者の役割は、このオーケストラの指揮者のように、リーダーシップを発揮して、いろいろな楽器などの演奏家や、またそれを支える裏方の人たちを取りまとめ、美しい調和されたシンフォニーを奏でることが求められるのではないのでしょうか。クラブには潜在的な能力や隠れた才能を持つ会員が大勢います。こうした人々の能力や才能を引き出し、伸ばせるように支援し、機会を与えなければなりません。会長やクラブ指導者の成果は、任務が終わるクラブの最後の演奏(〇〇)によって評価される、と結んでいます。

先日松山選手がマスターズ・ゴルフでアジア人として初めて優勝しました。次年度はクラブでもゴルフNO1の腕前を持つ阿萬会長をはじめとした指導者チームです。コロナ禍がいつ終わるかわかりませんが、クラブは漢字では「倶楽部」と書きます。ゴルフ倶楽部をゴルフを「俱(とも)」に「楽(たの)」しむ「部(あつまり)」と読むように、ぜひ大和中ロータリー倶楽部を「ロータリーをともしむ集り」にして戴くことを期待して、話を終わらせていただきます。



スマイルボックス 石川 達男 委員長 本日 ¥12,000 累計 ¥351,000

北砂 明彦 会長、野口 宏 幹事

3回目の緊急事態宣言が発令されそうです。お出かけには気持ちのいい季節となりますが、皆様お気をつけてください。後藤パストガバナーの卓話で勉強させていただきます。

辻 彰彦 君

皆様こんにちは。本日はクラブ協議会です。会員全員で話し合うチャンス。いい会にしましょう。後PGの卓話でいっぱい学びたいと思います。よろしくお願いいたします。

高橋 政勝 君

40年の皆出席のお祝いありがとうございます。皆さんに大変お世話になっておりますことを感謝いたします。

鈴木 洋子 君

本日の卓話宜しくお願ひ致します。高橋様皆出席

40年おめでとうございます。

阿萬 正巳 君

本日は、地区研修協議会全体会議のお話をさせて頂きます。よろしくお願いいたします。

後藤 定毅 君

橋本プログラム委員長から、ピンチヒッターを頼まれて、しばらくぶりに卓話させて頂きます。よろしくお願いいたします。

竹野 国敏 君

創業記念のお祝いをいただきありがとうございます。

肥田 昭 君

入会記念ありがとうございます。2年経過しましたが、これからもよろしくお願いいたします。

石川 達男 君

ズームの地区研修協議会に所用で参加できませんでした。本日は勉強させて頂きます。